下館 ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT 2021-22
Rotary International District 2820

第02603号
発行日
令和４年７月６日

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

シェカール・メタＲＩ会長

本日のプログラム

ガバナー公式訪問

次週のプログラム

移　動　例　会

会長／潮 田 武 彦　　副会長／岩 﨑 晴 男　　幹事／宮 田 憲 一　　会長エレクト／潮 田 武 彦

例会　毎週水曜日　12:30　ダイヤモンドホール（〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053−4　☎0296−28−8511）
ホームページ　http://www.shimodate-rc.gr.jp　　Eメール　shimodate@ri2820.jp

前例会報告　第2982回　2022/6/15（水）

お　客　様　ようこそ下館ＲＣへ

内山勝洋 様（さくら衛星クラブ）
杉山吉彦 様（さくら衛星クラブ）
市村照子 様（さくら衛星クラブ）
三澤隆一 様（さくら衛星クラブ）

会長挨拶　潮田武彦 会長

今年度最後の例会となりました。まずもって皆様に感謝申し上げます。

今年は、当クラブ62年の歴史の中で３人目のガバナーとして新井和雄ガバナーを輩出という栄誉を頂き、また新井ガバナーのもと、下館ＲＣから2820地区そして世界のロータリーに向けて、地球の環境保全活動を発信できた年度となりました。

前年度から地区行事が続き、コロナ禍ということが常に付きまとい、開催自体も危ぶまれるなど不安でしたが、終わってみたら、すべての地区行事をすべて執り行うことができ、また３年ぶりの地区大会「祭」もその名の通り大いに盛り上がりました。

下館ＲＣ一丸となり協力していただき、本当にありがとうございました。

宮田幹事には、二年連続の幹事を無理を言って務めてもらいました。また国際奉仕の地区委員、そして地区行事など、休みがないほど仕事とロータリー活動だけで毎日を過ごしていただきました。子供時代と変わらぬ気配りと思いやりの心で常に私を支えていただきました。本当にありがとうございました。

７月から新たな年度となりますが、下館ＲＣの未来につながる新しい歴史の第一歩の重要な年度となります。気持ちを新たに、更なる発展のために、今年の反省を胸に、もう一年、会長として頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、下館ロータリークラブの長い歴史を築いてきた方（お二人）の退会のお知らせをしなければなりません。まず初めに岩崎パスト会長です。岩崎さんは、クラブに入会されてから今年で31年目となります。奇しくも宅間年度の入会ということとした。２年前にクラブ会長を務められました。60周年、下館さくらロータリー衛星クラブの設立にたずさわり、また移動例会として東国三社めぐりに行くなどクラブを盛り上げるためにご活躍頂きました。若かりし頃、ボクシングをされていたお話の通り、常に体調管理に気を使い、体格を維持する意志の強さには、驚きました。まだまだご活躍を期待していたので、本当に残念ながら、一身上の都合により退会となられます。

また先日、ご報告した加藤さんも、宮田幹事とお宅にお伺いしてきたのですが、やはり健康上の問題で出かけることもままならないということでした。お休みの間も常にニコニコを入れていただくなど気を使っていただき、また例会に来ていただくことを心よりお待ちしていたのですが、残念です。お二人が築いてきた下館ＲＣをさらに発展させるためにも、お二人にご指導いただいたことを胸に秘め、誇りある下館ＲＣの伝統を引き継いでいきたいと思います。

このあと、岩崎会員には皆様に最後のご挨拶をしていただきます。

ご挨拶　新井和雄 ガバナー

６月４～９日、ヒューストンにて３年ぶりの国際大会が開催され、参加して来ました。11,000人のロータリアンが集い、会場は熱気に溢れていました。

本会議で特に印象的だったのは、ウクライナへの関心の高さです。開会式でウクライナの国旗が入場すると、会場全員が立ち上がり、拍手は鳴り止みませんでした。私は当地区が現地で行っている活動を誇りに思うとともに、多額の寄付を頂いた地区の皆さんを思い出し、目頭が熱くなりました。

そして、多くの同士たちと来年のメルボルンでの再会を約束して帰ってまいりました。

また、先月の地区大会には、早瀬幹事、神山実行委員長をはじめ皆さんには多大なご協力を頂き、ありがとうございました。

会長賞の授与　潮田武彦 会長

この１年間、大変ご活躍された宮田憲一幹事と根岸千聡委員長に、潮田会長から会長賞が手渡されました。

退会挨拶　岩﨑晴男 会員

1991年１月、宅間美治雄ＰＧの時に下館ＲＣに入会させていただき、2022年６月新井和雄Ｇ年度に退会させていただきます。神山芳子さんの心強いサポートとメンバーのご協力により、２年前に会長を拝命したこと、会長としての経験、そして新井和雄Ｇを中心に各種地区行事、地区大会の主催を経験できたことは、31年間の下館ＲＣのメンバーとして何よりの宝となりました。最後に、お世話になりありがとうございました。

親睦懇親会　松浦真也 親睦委員長

会場での懇親会が久し振りに開催されました。神山プログラム委員長の開会で始まり、終始和やかな懇親会となりました。

第２回職業奉仕セミナー報告

宮田憲一 幹事

国際ロータリー第2820地区第２回職業奉仕セミナーに参加しました。５月29日（日）ホテル日航つくばで開催。下館ロータリークラブからは、新井ガバナー、早瀬地区幹事、神山直前会長、潮田会長、幹事の私と５名が参加しました。

①講談師　宝井琴鶴様による『日本のロータリーの父　米山梅吉物語』

②鈴木冨士雄職業奉仕総括委員長による『時代と共に変わりつつあるロータリー』

③第2840地区パストガバナー本田博己様（前橋RC）による

『「職業奉仕」から「奉仕の理念」へ～日本のロータリー奉仕の第二世紀の哲学～』

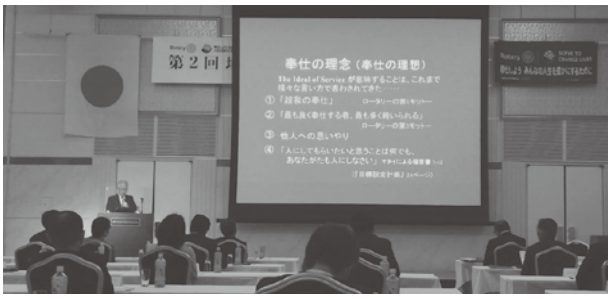
『変化こそは唯一の永遠である』とは岡倉天心の著書『茶の本』の中の言葉ですが、永遠であろうとするならば、どんな時も変化することを恐れていけないということを、３つの講演から学ぶことができました。

『奉仕の理念』を実践するために、持続可能な良い変化を地球～世界～地域社会～職場～家庭～自分自身に向けて創造し、様々な仲間と力を合わせて、行動することが求められている今日、ロータリーは多面体的であり、多様性に富んだ存在であることの大切さを教えていただきました。

「至誠惻怛」今回のセミナーに参加して、この言葉が思い浮かびました。

筑西市の友好都市である岡山県高梁市、かつての備中松山藩の幕末期の陽明学者、山田方谷が長岡藩士の河井継之助に贈った言葉で、まごころ（至誠）と、いたみ悲しむ心（惻怛）の二つを兼ね備えて生きることが、人としての基本姿勢であると説いています。

ロータリーの根底に流れる相互扶助の精神・思いやりの精神はいつの時代も求められていたことが歴史の中からも証明できる言葉だと思います。素晴らしい講演に心より感謝申し上げます。



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を実践すること；

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

＊欠席の場合は午前10時までにダイヤモンドホール（☎0296−28−8511）へご連絡下さい